

国際物流システムTOSSと Cyber Portを連携し A/N作成時の入力工数を大幅削減！

2025年6月17日
株式会社バイナル
浅野 由佳

- 1、バイナルについて
- 2、補助金申請に至った経緯
- 3、実施した事業内容
- 4、開発時の課題
- 5、補助事業によって得られた効果

バイナルについて

輸出入貿易ソフトのトップメーカー

株式会社バイナル

設立 : 1979年4月
資本金 : 8,000万円
代表取締役社長 : 岡本 治彦
従業員数 : 185名（営業38名、SE36名、PG96名 他15名）



日本本社（名古屋）

事業内容

輸出入者向け 輸出入貿易業務支援システム
フォワーダー・通関業者・港湾物流業者向け 業務管理システム
TOSSシリーズ 業務工程管理、輸出入申告価格計算
NACCS連携、文書管理、OCR

事業所

本社 : 〒460-0003
愛知県名古屋市中区錦1丁目4-6 大樹生命名古屋ビル7階
TEL:052-747-7300
URL <https://www.binal.co.jp>
営業拠点 : 東京、名古屋、大阪、シンガポール
開発拠点 : 東京、名古屋、大阪、瀋陽、杭州
グループ会社 : BINAL Asia Pacific (SG) Pte. Ltd.（シンガポール現地法人）
瀋陽翻倍科技有限公司（中国現地法人）
杭州翻倍科技有限责任公司（中国現地法人）

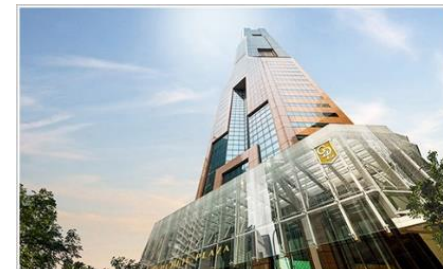


※中部国際空港



中国現地法人（瀋陽）

シンガポール現地法人



補助金申請に至った経緯

貿易業務管理システム

TOSS-SP EXPORT/IMPORT

Web業務工程管理システム

TOSS-LOGIWORKS

フォワーダー・通関業務管理システム

TOSS-LOGIPORT SEA/AIR

船積書類自動作成ツール

TOSS-AUTO INVOICE

貨物追跡システム

TOSS-FT

ドキュメント読取データ変換ツール

TOSS- OCR

税関申告価格計算システム

TOSS-CUSTOM/D

NACCS直接連携ゲートウェイシステム

TOSS-NA/MA

船社からの情報を荷主に
連携する手間が煩雑

補助事業によりCyber PortとのIF構築

要件定義を
踏まえて

A/Nのデータを連携するためCyber Portを
API接続モジュールを開発する方針

補助金申請に至った経緯

2024年5月 貿易PF補助事業 応募申請

2024年7月 補助事業者として採択される

2024年7月 交付申請と並行してプロジェクト開始

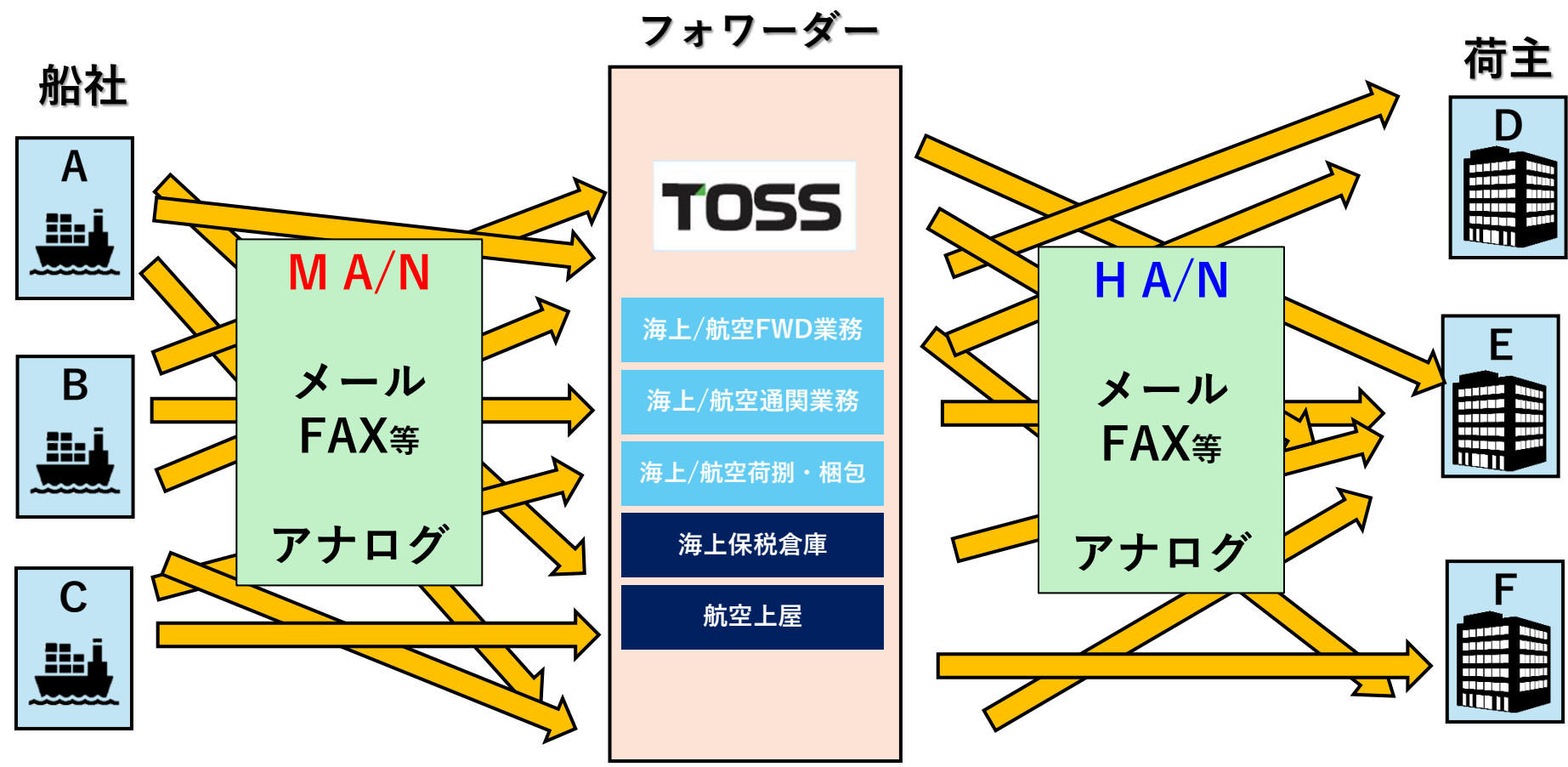
プロジェクト期間は約半年！
スケジュール通り遂行することが重要

2025年2月 事業完了報告実施

実施した事業内容

BEFORE :

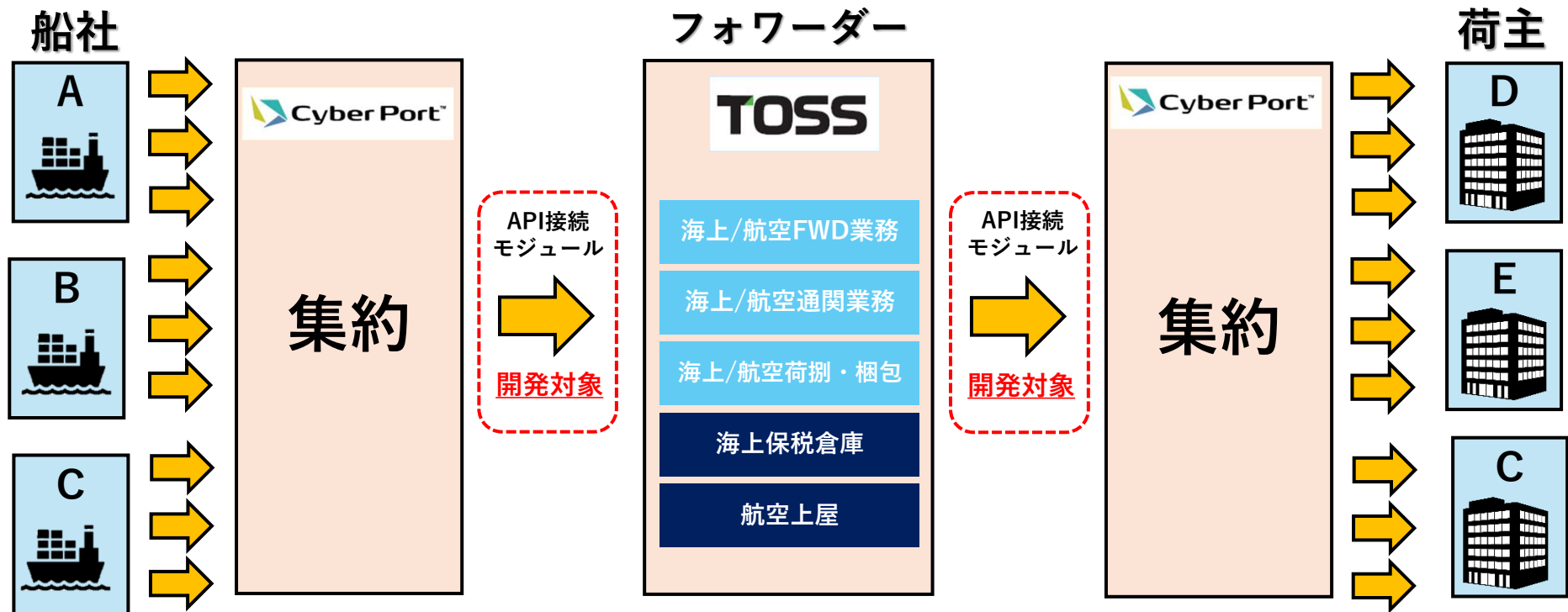
船社からバラバラに発行されたM A/Nの情報を集め、荷主ごとに手打ちしてH A/Nを発行しており作業量も多く非効率。手打ちによる誤入力も発生。



実施した事業内容

AFTER :

船社から発行されたM A/NをCyber Portに集約し案件ごとにTOSSと連携することで共通項目はH A/Nに自動反映し、手打ち作業の負担軽減に。
手打ち減少により誤入力が減り品質向上。



- ・ M A/Nの情報がCyber Portに集約され、情報管理が容易になった。
- ・ TOSS上で共通項目の入力を省略、M A/NからH A/Nを作成する際の手打ちを軽減かつ品質向上。

1、技術面での課題

→Cyber Portで提供されるWEB APIを利用した連携機能を開発したがそのWEB APIの仕様理解を重視し、JSON形式の取扱いに注力。

Cyber Portと弊社のTOSSではシステムの設計思想・構造が異なる。
ギャップを解消しながらデータ連携の仕様を決定することに工数を投入。

2、スケジュール面での課題

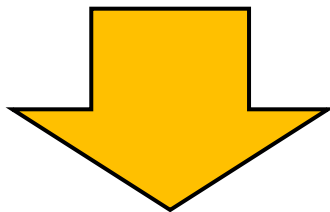
→交付決定から事業完了まで約半年という期間しかない中で、
開発担当者に仕様を齟齬なく伝え、手戻りのない開発をすることに留意。
いかに計画スケジュールの通り進めていくかを常に意識。



補助事業に応募される事業者様は、
しっかりと余裕をもったスケジュールを！

フォワーディング業務の手間を削減

→今回のAPI接続モジュールにより、FWD業務における手間や人的ミスを削減。



弊社提供システムの付加価値向上

→Cyber Portとの連携機能を実装することにより、自社のITサービスの付加価値も増し、自社サービスの提供を通じて貿易PFの普及に貢献。

ご清聴ありがとうございました

株式会社バイナル